

教科：工業

科目：工業技術基礎

単位数：3 単位

対象学年組：第1学年 A組

教科担当者： 鴨川 寛之 金子 淳一 矢澤 正己

使用教科書：（実教出版「工業技術基礎」、「建築実習1・2」、「建築設計製図」）

教科 工業 の目標：

【知識及び技能】工業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連している技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】工業に対する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 工業技術基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
工業の各分野に関する基礎的な知識と技術を身につけ、工業の発展と環境・資源などの調和のとれたものづくりを合理的に計画し、実際の仕事を適切に処理する技能を身につけている。	工業技術に関する諸問題の適切な解決を目指して、自ら広い視野で思考し、基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身につけている。	工業技術について主体的に興味・関心を持ち、その改善向上を目指して意欲的に取り組むとともに、社会の発展に役立つ技術開発を積極的に学ぶ態度を身につけている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	<p>単元名「展開授業①」</p> <p>【知識及び技能】 木工道具・木工機械、距離測量・平板測量、一点透視投影法について理解させ、関連する技術を身に付けさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 木工道具・木工機械、距離測量・平板測量、一点透視投影法について課題を発見し、解決する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 木工道具・木工機械、距離測量・平板測量、一点透視投影法について自ら学び、取り組む態度を養う。</p>	<p>指導項目</p> <ul style="list-style-type: none"> 木工Ⅰ (工業技術基礎pp.226-232) (建築実習2 pp.79-125) 木工道具、木工機械 測量Ⅰ (工業技術基礎pp.188-195) (建築実習2 pp.9-51) 距離測量、平板測量 造形Ⅰ (工業技術基礎pp.196-204) (建築設計製図pp.33-44) 一点透視投影法 	<p>【知識・技能】 報告書などの成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p> <p>【思考・判断・表現】 報告書などの提出物の成果や思考・判断など指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや報告書などの提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p>	○	○	○	35
2 学期	<p>単元名「展開授業②」</p> <p>【知識及び技能】 木工事、水準測量、二点透視投影法について理解させ、関連する技術を身に付けさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 木工事、水準測量、二点透視投影法について課題を発見し、解決する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 木工事、水準測量、二点透視投影法について自ら学び、取り組む態度を養う。</p>	<p>指導項目</p> <ul style="list-style-type: none"> 木工Ⅱ (工業技術基礎pp.226-232) (建築実習2 pp.79-125) 木工事(墨付け・加工・組立) 測量Ⅱ (工業技術基礎pp.188-195) (建築実習2 pp.9-51) 水準測量 造形Ⅱ (工業技術基礎pp.196-204) (建築設計製図pp.33-44) 二点透視投影法 	<p>【知識・技能】 報告書などの成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p> <p>【思考・判断・表現】 報告書などの提出物の成果や思考・判断など指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや報告書などの提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p>	○	○	○	40
3 学期	<p>単元名「展開授業③」</p> <p>【知識及び技能】 木造軸組模型、角測量、二点透視投影法について理解させ、関連する技術を身に付けさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 木造軸組模型、角測量、二点透視投影法について課題を発見し、解決する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 木造軸組模型、角測量、二点透視投影法について自ら学び、取り組む態度を養う。</p>	<p>指導項目</p> <ul style="list-style-type: none"> 木工Ⅲ (工業技術基礎pp.226-232) (建築実習1 pp.196-203) 木造軸組模型 測量Ⅲ (工業技術基礎pp.188-195) (建築実習2 pp.9-51) 角測量 造形Ⅲ (工業技術基礎pp.196-204) (建築設計製図pp.33-44) 二点透視投影法 	<p>【知識・技能】 報告書などの成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p> <p>【思考・判断・表現】 報告書などの提出物の成果や思考・判断など指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや報告書などの提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p>	○	○	○	30
合計							105

教科：工業

科目：製図

単位数：3 単位

対象学年組：第1学年 A組

教科担当者：葛西 楽遊 首代 昌紀

使用教科書：（実教出版「建築設計製図」）

教科 工業 の目標：

【知識及び技能】工業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連している技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】工業に対する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 製図 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
建築設計製図に関する学習や作図・課題演習を通して、基本的な概念や総合的な把握の仕方を理解し、設計図書の意義や役割、作図手順などの知識を習得するとともに、創意工夫して表現する設計製図の技能を身につける。	各種建築工事に使用される設計図書作成に関する諸問題を、総合的な見地からの確に把握し考察を深め、建築設計製図における基礎的・基本的な知識を活用して適切に思考・判断し、創意工夫した製図法で的確に表現する力を身につける。	各種建築工事に使用される設計図書を作成することに興味・関心をもち、建築設計図書の意義や役割および諸問題の解決を目指して、主体的に学習に取り組むとともに、建築技術者として望ましい心構えや態度を身につける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	<p>単元名「製図の基本」</p> <p>【知識及び技能】 製図用具と使い方や製図規約、平家建専用住宅の平面図について理解させ、関連する技術を身に付けさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 製図用具と使い方や製図規約、平家建専用住宅の平面図について課題を発見し、解決する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 製図用具と使い方や製図規約、平家建専用住宅の平面図について自ら学び、取り組む態度を養う。</p>	<p>指導項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製図用具と使い方(pp.10-12) ・線の練習(pp.13-16) ・製図規約(pp.17-19) ・文字の練習 ・平面表示記号 ・材料構造表示記号 <p>平家建専用住宅①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(製図例2-1)平面図(1:50) <p>教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書、図説建築資料集、参考作成プリント、見本製図 	<p>【知識・技能】 図面の成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p> <p>【思考・判断・表現】 図面などの提出物の成果や表現など指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや図面などの提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p>	○	○	○	35
2 学期	<p>単元名</p> <p>「平家建専用住宅設計図①-1」</p> <p>【知識及び技能】 平家建専用住宅設計図の配置図・平面図、平面詳細図、立面図・断面図、軸組図について理解させ、関連する技術を身に付けさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 平家建専用住宅設計図の配置図・平面図、平面詳細図、立面図・断面図、軸組図について課題を発見し、解決する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 平家建専用住宅設計図の配置図・平面図、平面詳細図、立面図・断面図、軸組図について自ら学び、取り組む態度を養う。</p>	<p>指導項目</p> <p>平家建専用住宅設計図①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(製図例2-1) 配置図・平面図(1:100) ・(製図例2-2)平面詳細図 ・(製図例2-3 P69~74) 立面図・断面図 ・(製図例2-5 P83~84) 軸組図 <p>教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書、図説建築資料集、参考作成プリント、見本製図 	<p>【知識・技能】 図面の成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p> <p>【思考・判断・表現】 図面などの提出物の成果や表現など指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや図面などの提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p>	○	○	○	40
3 学期	<p>単元名</p> <p>「平家建専用住宅設計図①-2」</p> <p>【知識及び技能】 平家建専用住宅設計図の基礎伏せ図・床伏せ図、断面詳細図について理解させ、関連する技術を身に付けさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 平家建専用住宅設計図の基礎伏せ図・床伏せ図、断面詳細図について課題を発見し、解決する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 平家建専用住宅設計図の基礎伏せ図・床伏せ図、断面詳細図について自ら学び、取り組む態度を養う。</p>	<p>指導項目</p> <p>平家建専用住宅設計図①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(製図例2-4 P75~81) 基礎伏せ図・床伏せ図 ・(製図例2-6 P85~89) 断面詳細図 <p>教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書、図説建築資料集、参考作成プリント、見本製図 	<p>【知識・技能】 図面の成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p> <p>【思考・判断・表現】 図面などの提出物の成果や表現など指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや図面などの提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p>	○	○	○	30
合計							105

高等学校 令和6年度

教科 工業

科目 工業情報数理

教科：工業

科目：工業情報数理

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組

教科担当者：鴨川 寛之 前代 昌紀

使用教科書：（実教出版「精選工業情報数理」）

教科 工業 の目標：

【知識及び技能】工業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連している技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】工業に対する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 工業情報数理 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会における情報化の進展と情報の意義や役割、情報化社会に生きる技術者としての使命を理解し、情報技術や数値処理に関する基礎的な知識を身につけ、それらの知識を概念的に理解し、調査や観察・演習を通して、それらを実際に活用できる技術を身につけている。	情報化社会における諸問題の解決や情報技術・数値処理について自ら思考を深め、問題解決方法を適切に判断し、情報技術や数値処理を活用して、論述や報告書の作成、グループでの話し合いや発表、作品の制作などの表現の能力を身につけている。	情報技術や数値処理に関する知識と技能を獲得したり、思考・判断・表現の力を身につけたりすることに力強い粘り強い取組みを通して、他者との協働により自らの考えを相対化し、学びに向かった意欲的に取り組む力や人間性を身につけている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
1 学期	<p>展開授業① 単元名「産業社会と情報技術」 【知識及び技能】 情報化の進展と産業社会、情報モラル、情報セキュリティ管理などについて理解させ、関連する技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 情報化の進展と産業社会、情報モラル、情報セキュリティ管理などについて課題を発見し、解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 情報化の進展と産業社会、情報モラル、情報セキュリティ管理などについて自ら学び、取り組む態度を養う。</p>	<p>指導項目 ・情報化の進展と産業社会 ・情報モラル ・情報のセキュリティ管理</p> <p>教材 ・教科書、指導用プリント</p>	<p>【知識・技能】 小テスト・検定の成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p> <p>【思考・判断・表現】 提出物や小テスト・検定の成果を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p>	○	○	○	24
2 学期	<p>展開授業② 単元名「コンピューターシステム」 【知識・技能】 ハードウェア、ソフトウェア、情報通信ネットワークについて理解させ、関連する技術を身に付けさせる。 【思考・判断・表現】 ハードウェア、ソフトウェア、情報通信ネットワークについて課題を発見し、解決する力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 ハードウェア、ソフトウェア、情報通信ネットワークについて自ら学び、取り組む態度を養う。</p>	<p>指導項目 ・ハードウェア ・ソフトウェア ・情報通信ネットワーク</p> <p>教材 ・教科書、指導用プリント</p>	<p>【知識・技能】 小テスト・検定の成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p> <p>【思考・判断・表現】 提出物や小テスト・検定の成果を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p>	○	○	○	26
3 学期	<p>展開授業③ 単元名「プログラミングと工業に関する事象の数値基礎」 【知識及び技能】 アルゴリズムとプログラミング、データの入出力、数値処理について理解させ、関連する技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 アルゴリズムとプログラミング、データの入出力、数値処理について課題を発見し、解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 アルゴリズムとプログラミング、データの入出力、数値処理について自ら学び、取り組む態度を養う。</p>	<p>指導項目 ・アルゴリズムとプログラミング ・データの入出力 ・数値処理</p> <p>教材 ・教科書、指導用プリント</p>	<p>【知識・技能】 小テスト・検定の成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p> <p>【思考・判断・表現】 提出物や小テスト・検定の成果を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p>	○	○	○	20
合計							70

高等学校 令和6年度

教科 工業

科目 建築構造

教科：工業

科目：建築構造

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組

教科担当者：矢澤 正己

使用教科書：（実教出版「建築構造」）

教科 工業 の目標：

【知識及び技能】工業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連している技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】工業に対する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 建築構造 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
建築物の構造や建築材料に関する基礎的な知識の習得をもとに、建築に関わる諸事項を合理的かつ的確に遂行する技術や技能を身に付け、環境への配慮を心がけたうえで活用することを理解している。	建築物の構造や建築材料に関する基礎的な知識や技能の習得をもとに、建築物の設計や施工をするときに生じる諸問題の解決を目指して自ら思考し、判断し創意工夫する能力を身に付けるとともに、その成果を適切に表現することを考えている。	建築物の構造や建築材料に関心を持ち、これらに関する基礎的な知識や技能の習得に粘り強く取り組むとともに、学習状況を把握し、自ら立てた学習計画により取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学 期	単元名「建築構造のあらし」 【知識及び技能】 建築構造の歴史的発達・なりたち・分類、建築物に働く力、関連法規と規準について理解させ、関連する技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 建築構造の歴史的発達・なりたち・分類、建築物に働く力、関連法規と規準について課題を発見し、解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 建築構造の歴史的発達・なりたち・分類、建築物に働く力、関連法規と規準について自ら学び、取り組む態度を養う。	指導項目 ・建築構造の歴史的発達 ・建築構造のなりたち ・建築構造の分類 ・建築物に働く力 ・関連する法規と規準 教材 ・教科書 ・図説建築資料集 ・作成プリント	【知識・技能】 定期考査の成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【思考・判断・表現】 ノートなどの提出物や定期考査の成果を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。	○	○	○	10	
	中間考査			○	○		1	
	単元名「木構造1」 【知識及び技能】 木構造の特徴と構造形式及び木材、木材の接合について理解させ、関連する技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 木構造の特徴と構造形式及び木材、木材の接合について課題を発見し、解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 木構造の特徴と構造形式及び木材、木材の接合について自ら学び、取り組む態度を養う。	指導項目 ・構造の特徴と構造形式 ・木材 ・木材の接合 教材 ・教科書 ・図説建築資料集 ・作成プリント	【知識・技能】 定期考査の成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【思考・判断・表現】 ノートなどの提出物や定期考査の成果を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。	○	○	○	10	
期末考査			○	○		1		
2 学 期	単元名「木構造2」 【知識及び技能】 木構造の基礎及び軸組、小屋組について理解させ、関連する技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 木構造の基礎及び軸組、小屋組について課題を発見し、解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 木構造の基礎及び軸組、小屋組について自ら学び、取り組む態度を養う。	指導項目 ・基礎 ・軸組 ・小屋組 教材 ・教科書 ・図説建築資料集 ・作成プリント	【知識・技能】 定期考査の成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【思考・判断・表現】 ノートなどの提出物や定期考査の成果を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。	○	○	○	17	
	中間考査			○	○		1	
	単元名「木構造3」 【知識及び技能】 木構造の床組及び階段について理解させ、関連する技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 木構造の床組及び階段について課題を発見し、解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 木構造の床組及び階段について自ら学び、取り組む態度を養う。	指導項目 ・床組 ・階段 教材 ・教科書 ・図説建築資料集 ・作成プリント	【知識・技能】 定期考査の成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【思考・判断・表現】 ノートなどの提出物や定期考査の成果を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。	○	○	○	16	
期末考査			○	○		1		
3 学 期	単元名「木構造4」 【知識及び技能】 木構造の内外部仕上及び枠組壁構法について理解させ、関連する技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 木構造の内外部仕上及び枠組壁構法について課題を発見し、解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 木構造の内外部仕上及び枠組壁構法について自ら学び、取り組む態度を養う。	指導項目 ・外部仕上げ ・内部仕上げ ・木造枠組壁構法 教材 ・教科書 ・図説建築資料集 ・作成プリント	【知識・技能】 定期考査の成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【思考・判断・表現】 ノートなどの提出物や定期考査の成果を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。	○	○	○	12	
	学年末考査			○	○		1	
							合計	70

高等学校 令和6年度

教科 工業

科目 建築実習

教科：工業

科目：建築実習

単位数：3 単位

対象学年組：第2学年 A組

教科担当者：金子 淳一

首代 昌紀

矢澤 正己

使用教科書：（実教出版「建築実習1」、「建築設計製図」）

教科 工業 の目標：

【知識及び技能】工業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連している技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】工業に対する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 建築実習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
建築の各分野に関する基礎的な知識と技術を身につけ、工業の発展と環境・資源などの調和のとれたものづくりを合理的に計画し、実際の仕事を適切に処理する技能を身につけている。	工業技術に関する諸問題の適切な解決を目指して、自ら広い視野で思考し、基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身につけている。	工業技術について主体的に興味・関心を持ち、その改善向上を目指して意欲的に取り組むとともに、社会の発展に役立つ技術開発を積極的に学ぶ態度を身につけている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	<p>単元名「展開授業①」</p> <p>【知識及び技能】 建築材料、住宅計画・設計、2次元CADの基礎について理解させ、関連する技術を身に付けさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 建築材料、住宅計画・設計、2次元CADの基礎について課題を発見し、解決する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 建築材料、住宅計画・設計、2次元CADの基礎について自ら学び、取り組む態度を養う。</p> <p>【重視すべき要点】 1. 実習服に着替えて行う。 2. 始業前に集合場所に整列する。 3. 準備すべき持ち物を事前に係りが把握しクラス全体に周知させる。 4. 服装のみだれや注意力不足は怪我につながる。 5. レポート、作品の提出日、時間は厳守。</p>	<p>指導項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材料Ⅰ (建築実習1 pp.24-59) セメント、骨材、コンクリート 一人1台端末の活用 ・造形Ⅰ (建築設計製図pp.46-109) 木構造住宅の計画と設計 ・CADⅠ (建築設計製図pp.182-193) 2次元CADの基礎 ・安全教育 服装、機械・工具の取扱、 準備、片付け・清掃 ・データ処理 レポート作成・提出について 	<p>【知識・技能】 報告書などの成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p> <p>【思考・判断・表現】 報告書などの提出物の成果や思考・判断など指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや報告書などの提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p>	○	○	○	55
	2 学 期	<p>単元名「展開授業①」</p> <p>【知識及び技能】 建築材料、建築外観模型、2次元CADの実践について理解させ、関連する技術を身に付けさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 建築材料、建築外観模型、2次元CADの実践について課題を発見し、解決する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 建築材料、建築外観模型、2次元CADの実践について自ら学び、取り組む態度を養う。</p>	<p>指導項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材料Ⅱ (建築実習1 pp.13-76) コンクリート、木材、鋼材 一人1台端末の活用 ・造形Ⅱ (建築実習1 pp.187-195) 建築外観模型 ・CADⅡ (建築設計製図pp.182-193) 2次元CADを活用した建築図面 	<p>【知識・技能】 報告書などの成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p> <p>【思考・判断・表現】 報告書などの提出物の成果や思考・判断など指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや報告書などの提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p>	○	○	○
3 学 期							
合計							
合計							105

高等学校 令和6年度

教科 工業

科目 建築製図

教科：工業

科目：建築製図

単位数：3 単位

対象学年組：第2学年 A組

教科担当者：鴨川 寛之 葛西 楽遊

使用教科書：（実教出版「建築設計製図」）

教科 工業 の目標：

【知識及び技能】工業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連している技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】工業に対する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 建築製図 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
建築設計製図に関する学習や作図・課題演習を通して、基本的な概念や総合的な把握の仕方を理解し、設計図書の意義や役割、作図手順などの知識を習得するとともに、創意工夫して表現する設計製図の技能を身につける。	各種建築工事に使用される設計図書作成に関する諸問題を、総合的な見地からの確に把握し考察を深め、建築設計製図における基礎的・基本的な知識を活用して適切に思考・判断し、創意工夫した製図法で的確に表現する力を身につける。	各種建築工事に使用される設計図書を作成することに興味・関心をもち、建築設計図書の意義や役割および諸問題の解決を目指して、主体的に学習に取り組むとともに、建築技術者として望ましい心構えや態度を身につける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	<p>単元名 「木造2階建て専用住宅」</p> <p>【知識及び技能】 木造2階建て専用住宅設計図の配置図・平面図、立面図・断面図、断面詳細図について理解させ、関連する技術を身に付けさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 木造2階建て専用住宅設計図の配置図・平面図、立面図・断面図、断面詳細図について課題を発見し、解決する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 木造2階建て専用住宅設計図の配置図・平面図、立面図・断面図、断面詳細図について自ら学び、取り組む態度を養う。</p>	<p>指導項目 木造2階建て専用住宅 ・（製図例5-1） 配置図兼1階平面図（1:100） 2階平面図（1:100） オリジナル配置・庭園計画 ・（製図例5-4） 立面図（1:100） ・（製図例5-6） 断面図（1:100） ・（製図例5-7） 断面詳細図（1:30）</p> <p>教材 ・教科書、図説建築資料集、参考作成プリント、見本製図</p>	<p>【知識・技能】 図面の成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p> <p>【思考・判断・表現】 図面などの提出物の成果や表現など指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや図面などの提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p>	○	○	○	35
2 学期	<p>単元名 「木造2階建て専用住宅」</p> <p>【知識及び技能】 鉄筋コンクリート、鋼造3階建て店舗付き事務所設計図の配置図・平面図、立面図・断面図、各種詳細図について理解させ、関連する技術を身に付けさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 鉄筋コンクリート、鋼造3階建て店舗付き事務所設計図の配置図・平面図、立面図・断面図、各種詳細図について課題を発見し、解決する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 鉄筋コンクリート、鋼造3階建て店舗付き事務所設計図の配置図・平面図、立面図・断面図、各種詳細図について自ら学び、取り組む態度を養う。</p>	<p>指導項目 鉄筋コンクリート、鋼造3階建て店舗付き事務所 ・（製図例6-1） 配置図（1:200） 1-3階平面図（1:100） ・（製図例6-3） 立面図（1:100） 断面図（1:100） ・（製図例6-4） 平面詳細図（1:30） 階段断面詳細図（1:30） ・（製図例6-9） 配筋詳細図（1:30） ・（製図例10-4） 鉄骨詳細図（1:20）</p> <p>教材 ・教科書、図説建築資料集、参考作成プリント、見本製図</p>	<p>【知識・技能】 図面の成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p> <p>【思考・判断・表現】 図面などの提出物の成果や表現など指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや図面などの提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p>	○	○	○	40
3 学期	<p>単元名 「2級建築士設計製図課題」</p> <p>【知識及び技能】 身につけてきた知識技術を活用して、2級建築士設計製図課題の条件に違反しない建築計画と要求図面について理解させ、関連する技術を身に付けさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 2級建築士設計製図課題の問題文から重要箇所を把握と課題を発見し、解決する力と要求図面で表現する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 2級建築士設計製図課題について自ら学び、取り組む態度を養う。</p>	<p>指導項目 2級建築士設計製図課題 ・問題文の読み込みと重要箇所の把握 ・建築物の計画と構想図・基本設計図の作成（エスキス） ・配置図兼1階平面図 ・2階平面図 ・立、断面図 ・短計図 ・2階床伏図兼小屋伏せ図</p> <p>教材 ・教科書、図説建築資料集、参考作成プリント、見本製図</p>	<p>【知識・技能】 図面の成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p> <p>【思考・判断・表現】 図面などの提出物の成果や表現など指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや図面などの提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p>	○	○	○	30

合計

105

教科：工業

科目：建築構造

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 A組

教科担当者：鴨川 寛之

使用教科書：（実教出版「建築構造」）

教科 工業 の目標：

【知識及び技能】工業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連している技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】工業に対する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 建築構造 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
建築物の構造や建築材料に関する基礎的な知識の習得をもとに、建築に関わる諸事項を合理的かつ的確に遂行する技術や技能を身に付け、環境への配慮を心がけたうえで活用することを理解している。	建築物の構造や建築材料に関する基礎的な知識や技能の習得をもとに、建築物の設計や施工をするときに生じる諸問題の解決を目指して自ら思考し、判断し創意工夫する能力を身に付けるとともに、その成果を適切に表現することを考えている。	建築物の構造や建築材料に関心を持ち、これらに関する基礎的な知識や技能の習得に粘り強く取り組むとともに、学習状況を把握し、自ら立てた学習計画により取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	単元名「鉄筋コンクリート構造1」 【知識及び技能】 鉄筋コンクリート構造の特徴と構造形式及び鉄筋、コンクリートについて理解させ、関連する技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 鉄筋コンクリート構造の特徴と構造形式及び鉄筋、コンクリートについて課題を発見し、解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 鉄筋コンクリート構造の特徴と構造形式及び鉄筋、コンクリートについて自ら学び、取り組む態度を養う。	指導項目 ・構造の特徴と構造形式 ・鉄筋 ・コンクリート 教材 ・教科書 ・図説建築資料集 ・作成プリント	【知識・技能】 定期考査の成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【思考・判断・表現】 ノートなどの提出物や定期考査の成果を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。	○	○	○	10
	中間考査			○	○		1
	単元名「鉄筋コンクリート構造2」 【知識及び技能】 鉄筋コンクリート構造の基礎及び躯体、仕上げについて理解させ、関連する技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 鉄筋コンクリート構造の基礎及び躯体、仕上げについて課題を発見し、解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 鉄筋コンクリート構造の基礎及び躯体、仕上げについて自ら学び、取り組む態度を養う。	指導項目 ・基礎 ・躯体 ・仕上げ 教材 ・教科書 ・図説建築資料集 ・作成プリント	【知識・技能】 定期考査の成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【思考・判断・表現】 ノートなどの提出物や定期考査の成果を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。	○	○	○	10
	期末考査			○	○		1
2 学期	単元名「鉄筋コンクリート構造2」 【知識及び技能】 鉄筋コンクリート構造の壁式・プレストレストコンクリート構造について理解させ、関連する技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 鉄筋コンクリート構造の壁式・プレストレストコンクリート構造について課題を発見し、解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 鉄筋コンクリート構造の壁式・プレストレストコンクリート構造について自ら学び、取り組む態度を養う。	指導項目 ・壁式構造 ・プレストレストコンクリート構造 教材 ・教科書 ・図説建築資料集 ・作成プリント	【知識・技能】 定期考査の成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【思考・判断・表現】 ノートなどの提出物や定期考査の成果を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。	○	○	○	17
	中間考査			○	○		1
	単元名「鋼構造1」 【知識及び技能】 鋼構造の特徴と構造形式及び鋼と鋼材、鋼材の接合、基礎と柱脚について理解させ、関連する技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 鋼構造の特徴と構造形式及び鋼と鋼材、鋼材の接合、基礎と柱脚について課題を発見し、解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 鋼構造の特徴と構造形式及び鋼と鋼材、鋼材の接合、基礎と柱脚について自ら学び、取り組む態度を養う。	指導項目 ・構造の特徴と構造形式 ・鋼と鋼材 ・鋼材の接合 ・基礎と柱脚 教材 ・教科書 ・図説建築資料集 ・作成プリント	【知識・技能】 定期考査の成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【思考・判断・表現】 ノートなどの提出物や定期考査の成果を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。	○	○	○	16
	期末考査			○	○		1
3 学期	単元名「鋼構造2」 【知識及び技能】 鋼構造の骨組及び仕上げ、軽量鋼構造と鋼管構造について理解させ、関連する技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 鋼構造の骨組及び仕上げ、軽量鋼構造と鋼管構造について課題を発見し、解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 鋼構造の骨組及び仕上げ、軽量鋼構造と鋼管構造について自ら学び、取り組む態度を養う。	指導項目 ・骨組 ・仕上げ ・軽量鋼構造と鋼管構造 教材 ・教科書 ・図説建築資料集 ・作成プリント	【知識・技能】 定期考査の成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【思考・判断・表現】 ノートなどの提出物や定期考査の成果を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。	○	○	○	12
	学年末考査			○	○		1
	合計						70

教科：工業

科目：建築計画

単位数：3 単位

対象学年組：第2学年 A組

教科担当者：葛西 楽遊

使用教科書：（実教出版「建築計画」）

教科 工業 の目標：

【知識及び技能】工業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連している技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】工業に対する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 建築計画 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
建築の各分野の基礎的・基本的な知識・技術を活用して立案した建築計画を合理的かつ適切なものにするため、根拠となるデータや数値を抽出・算出できる方法を習得、建築計画の意義や役割を理解する。	建築計画にかかわる問題点や課題を建築の各分野の基礎的・基本的な知識・技術を活用して思考・判断し、その解決策を的確に表現できる能力を身につける。	建築計画に興味・関心をもち、その目的や意義をはじめ、建築物のつくり出される過程との関わりなどを理解するため、真摯な態度で意欲的に取り組む。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元名「建築と環境1」 【知識及び技能】 建築物を取りまく環境の各要素について理解させ、関連する技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 建築物を取りまく環境の各要素について課題を発見し、解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 建築物を取りまく環境の各要素について自ら学び、取り組む態度を養う。	指導項目 ・建築と環境の概要 ・屋外環境と室内環境 ・換気と通風 ・伝熱と結露 ・日照と日射 教材 ・教科書 ・作成プリント	【知識・技能】 定期考査の成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【思考・判断・表現】 ノートなどの提出物や定期考査の成果を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。	○	○	○	18
	中間考査			○	○		1
	単元名「建築と環境2」 【知識及び技能】 建築物を取りまく環境の各要素について理解させ、関連する技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 建築物を取りまく環境の各要素について課題を発見し、解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 建築物を取りまく環境の各要素について自ら学び、取り組む態度を養う。	指導項目 ・採光と照明 ・色彩 ・音響 教材 ・教科書 ・作成プリント	【知識・技能】 定期考査の成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【思考・判断・表現】 ノートなどの提出物や定期考査の成果を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。	○	○	○	18
	期末考査			○	○		1
2 学 期	単元名「住宅の計画」 【知識及び技能】 住宅の意義及び計画の進め方と考慮事項について理解させ、関連する技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 住宅の意義及び計画の進め方と考慮事項について課題を発見し、解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 住宅の意義及び計画の進め方と考慮事項について自ら学び、取り組む態度を養う。	指導項目 ・住宅の意義 ・住宅計画の進め方 ・全体計画 ・各部の計画 ・バリアフリーと ユニバーサルデザイン 教材 ・教科書 ・作成プリント	【知識・技能】 定期考査の成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【思考・判断・表現】 ノートなどの提出物や定期考査の成果を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。	○	○	○	24
	中間考査			○	○		1
	単元名「各種建築物の計画」 【知識及び技能】 各種建築物の計画と安全について理解させ、関連する技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 各種建築物の計画と安全について課題を発見し、解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 各種建築物の計画と安全について自ら学び、取り組む態度を養う。	指導項目 ・集合住宅の計画 ・事務所の計画 ・小学校の計画 ・各種建築物の安全計画 教材 ・教科書 ・作成プリント	【知識・技能】 定期考査の成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【思考・判断・表現】 ノートなどの提出物や定期考査の成果を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。	○	○	○	21
	単元名「都市と地域の計画」 【知識及び技能】 都市と地域の計画について理解させ、関連する技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 都市と地域の計画について課題を発見し、解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 都市と地域の計画について自ら学び、取り組む態度を養う。	指導項目 ・都市と都市計画 ・都市計画制度と都市計画法 ・建築と地域の計画 ・地域の計画とまちづくり 教材 ・教科書 ・作成プリント		○	○	○	1
期末考査			○	○		1	

3 学 期	<p>単元名「建築設備の計画」</p> <p>【知識及び技能】 各種建築設備の概要及び計画について理解させ、関連する技術を身に付けさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 各種建築設備の概要及び計画について課題を発見し、解決する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 各種建築設備の概要及び計画について自ら学び、取り組む態度を養う。</p>	<p>指導項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建築設備の概要 ・ 給排水・衛生設備 ・ 空気調和・換気設備 ・ 電気設備 ・ 防災設備 <p>教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書 ・ 作成プリント 	<p>【知識・技能】 定期考査の成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p> <p>【思考・判断・表現】 ノートなどの提出物や定期考査の成果を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p>	○	○	○	19
	<p>単元名「建築の移り変わり」</p> <p>【知識及び技能】 建築の移り変わりについて理解させ、関連する技術を身に付けさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 建築の移り変わりについて課題を発見し、解決する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 建築の移り変わりについて自ら学び、取り組む態度を養う。</p>	<p>指導項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本の建築(原始から近世) ・ 西洋の建築(古代から近世) ・ 近代の建築 ・ 現代の建築 <p>教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書 ・ 作成プリント 		○	○		1
	学年末考査			○	○		1
							合計
							105

教科：工業

科目：建築構造設計

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 A組

教科担当者：葛西 楽遊 鴨川 寛之

使用教科書：（実教出版「建築構造設計」）

教科 工業 の目標：

【知識及び技能】工業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連している技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】工業に対する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 建築構造設計 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
建築構造設計に関する基礎的・基本的な知識と技術を身につける。建築物の安全性について現代社会におけるその意義や役割を理解するとともに合理的に考えることができる。	建築物全体の安全性に関して思考を深め、建築構造設計に関する基礎的・基本的な知識と技術を基に、技術者として適切に判断、表現する創造的な能力を身につける。	建築物の安全性に関して関心をもち、その基礎的・基本的な知識と技術の習得に対して主体的に取り組むとともに、技術者として多様な構造設計に挑む実践的な態度を身につける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	単元名「静定ラーメン」 【知識及び技能】 片持ち梁系・単純梁系ラーメン、3ピン式ラーメンについて理解させ、関連する技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 片持ち梁系・単純梁系ラーメン、3ピン式ラーメンについて課題を発見し、解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 片持ち梁系・単純梁系ラーメン、3ピン式ラーメンについて自ら学び、取り組む態度を養う。	指導項目 ・片持ち梁 ・単純梁 ・部材に生じる応力の求め方と表し方 (M, N, Q図) 教材 ・教科書、作成プリント	【知識・技能】 定期考査の成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【思考・判断・表現】 ノートなどの提出物や定期考査の成果を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。	○	○	○	10
	中間考査			○	○		1
	単元名「静定梁」 【知識及び技能】 片持ち梁・単純梁について理解させ、関連する技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 片持ち梁・単純梁の応力図について課題を発見し、解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 片持ち梁・単純梁の応力図について自ら学び、取り組む態度を養う。	指導項目 ・片持ち梁 ・単純梁 ・等分布荷重 ・部材に生じる応力の求め方と表し方 (M, N, Q図) 教材 ・教科書、作成プリント	【知識・技能】 定期考査の成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【思考・判断・表現】 ノートなどの提出物や定期考査の成果を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。	○	○	○	10
期末考査			○	○		1	
2 学期	単元名「静定ラーメン」 【知識及び技能】 片持ち梁系・単純梁系ラーメンについて理解させ、関連する技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 片持ち梁系・単純梁系ラーメンの応力図について課題を発見し、解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 片持ち梁系・単純梁系ラーメンの応力図について自ら学び、取り組む態度を養う。	指導項目 ・構造物に生じる応力の種類 ・ラーメン構造 ・部材に生じる応力の求め方と表し方 (M, N, Q図) 教材 ・教科書、作成プリント	【知識・技能】 定期考査の成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【思考・判断・表現】 ノートなどの提出物や定期考査の成果を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。	○	○	○	17
	中間考査			○	○		1
	単元名「静定ラーメン」 【知識及び技能】 片持ち梁系・単純梁系ラーメン、3ピン式ラーメンについて理解させ、関連する技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 片持ち梁系・単純梁系ラーメン、3ピン式ラーメンの応力図について課題を発見し、解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 片持ち梁系・単純梁系ラーメン、3ピン式ラーメンの応力図について自ら学び、取り組む態度を養う。	指導項目 ・構造物に生じる応力の種類 ・ラーメン構造、3ピン式ラーメン構造 ・等分布荷重 ・部材に生じる応力の求め方と表し方 (M, N, Q図) 教材 ・教科書、作成プリント	【知識・技能】 定期考査の成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【思考・判断・表現】 ノートなどの提出物や定期考査の成果を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。	○	○	○	16
期末考査			○	○		1	
3 学期	単元名「静定トラス」 【知識及び技能】 トラスの解法、同部材に生じる力、節点法、切断法について理解させ、関連する技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 トラスの解法、同部材に生じる力、節点法、切断法について課題を発見し、解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 トラスの解法、同部材に生じる力、節点法、切断法について自ら学び、取り組む態度を養う。	指導項目 ・トラスの解法 ・トラス部材に生じる力 ・節点法 ・切断法 教材 ・教科書、作成プリント	【知識・技能】 定期考査の成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【思考・判断・表現】 ノートなどの提出物や定期考査の成果を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。	○	○	○	12
	学年末考査			○	○		1
							合計
							70

高等学校 令和6年度

教科 工業

科目 課題研究

教科：工業

科目：課題研究

単位数：3 単位

対象学年組：第3学年 A組

教科担当者：首代 昌紀

矢澤 正己

葛西 楽遊

鴨川 寛之

金子 淳一

使用教科書：（実教出版「建築実習1」「建築実習2」「建築設計製図」）

教科 工業 の目標：

【知識及び技能】工業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連している技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】工業に対する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。

科目 課題研究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
建築の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた技術を身に付けるようにする。	建築に関する課題を発見し、工業に携わる者として独創的に解決策を探究し、科学的な根拠に基づき創造的に解決する力を養う。	課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、工業の発展や社会貢献に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	<p>単元名「展開授業」</p> <p>【知識及び技能】 創作模型、設計製図、調査研究、パース、木工、改修計画の発展的な内容について理解させ、関連する技術を身に付けさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 創作模型、設計製図、調査研究、パース、木工、改修計画の発展的な内容について課題を発見し、解決する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 創作模型、設計製図、調査研究、パース、木工、改修計画の発展的な内容について自ら学び、取り組む態度を養う。</p>	<p>指導項目</p> <p>A：創作模型 (オリジナル構想の模型制作)</p> <p>B：設計製図、調査研究 (各種コンペへの参加及び環境工学や建築史の調査・研究)</p> <p>C：パース (エアブラシによる着差しぱーすの作成)</p> <p>D：木工 (大工技能研究及び造作)</p> <p>E：改修計画 (校舎の改修計画及び模型制作)</p>	<p>【知識・技能】 授業中の取組みや作品など、指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p> <p>【思考・判断・表現】 授業中の取組みや制作過程における思考・判断など、指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや報告書などの提出物など、指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p>				96
2 学 期	<p>【重視すべき要点】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実習服に着替えて行う。 2. 始業前に集合場所に整列する。 3. 準備すべき持ち物を事前に班長が把握し班員に周知させる。 4. 服装のみだれや注意力不足は怪我につながる。 5. 作品の提出日、時間は厳守。 						
3 学 期	<p>単元名「発表会準備及び発表会」</p> <p>【知識及び技能】 創作模型、設計製図、調査研究、パース、木工、改修計画について振り返り理解させ、関連する技術を身に付けさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 発表の方法について課題を発見し、解決する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 発表の方法について自ら学び、取り組む態度を養う。</p> <p>【重視すべき要点】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 発表会準備及び参加は厳守。 		<p>【知識・技能】 発表資料など、指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p> <p>【思考・判断・表現】 発表方法の制作における思考・判断など、指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 発表資料の準備や発表会参加の状況など、指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p>				9

合計
105

高等学校 令和6年度

教科 工業

科目 建築実習

教科：工業

科目：建築実習

単位数：3 単位

対象学年組：第3学年 A組

教科担当者：矢澤 正己

葛西 楽遊

鴨川 寛之

使用教科書：（実教出版「建築実習1」、「建築実習2」、「建築計画」）

教科 工業 の目標：

【知識及び技能】工業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連している技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】工業に対する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 建築実習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
建築の各分野に関する基礎的・発展的な知識と技術を身につけ、工業の発展と環境・資源などの調和のとれたものづくりを合理的に計画し、実際の仕事を適切に処理する技能を身につけている。	工業技術に関する諸問題の適切な解決を目指して、自ら広い視野で思考し、基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身につけている。	工業技術について主体的に興味・関心を持ち、その改善向上を目指して意欲的に取り組むとともに、社会の発展に役立つ技術開発を積極的に学ぶ態度を身につけている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	<p>単元名「展開授業①」</p> <p>【知識及び技能】 安全教育、仮設工事、音環境、先端技術について理解させ、関連する技術を身に付けさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 安全教育、仮設工事、音環境、先端技術について課題を発見し、解決する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 安全教育、仮設工事、音環境、先端技術について自ら学び、取り組む態度を養う。</p>	<p>指導項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全教育 服装、機械・工具の取扱、作業準備、片付け・清掃 ・データ処理 レポート作成・提出について ・施工Ⅰ（仮設工事Ⅰ） （建築実習2 pp.69-74） 枠組足場の組立・解体 ・環境計画Ⅰ（音環境Ⅰ） （建築実習1 pp.157-159） （建築計画 pp.62-71） 騒音の測定 ・先端技術Ⅰ ドローン操作と建築での活用法 トールステーションを活用した墨出し 	<p>【知識・技能】 報告書などの成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p> <p>【思考・判断・表現】 報告書などの提出物の成果や思考・判断など指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや報告書などの提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p>	○	○	○	42
2 学 期	<p>単元名「展開授業②」</p> <p>【知識及び技能】 仮設工事、光環境、先端技術について理解させ、関連する技術を身に付けさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 仮設工事、光環境、先端技術について課題を発見し、解決する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 仮設工事、光環境、先端技術について自ら学び、取り組む態度を養う。</p>	<p>指導項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施工Ⅱ（仮設工事Ⅱ） （建築実習2 pp.69-76） 単管足場の組立・解体 ・環境計画Ⅱ（光環境Ⅰ） （建築実習1 pp.170-172） （建築計画 pp.46-54） 人工照明：作業面照度測定 ・先端技術Ⅱ 3次元測定器による測定 測定結果の精査・照合 	<p>【知識・技能】 報告書などの成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p> <p>【思考・判断・表現】 報告書などの提出物の成果や思考・判断など指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや報告書などの提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p>	○	○	○	48
3 学 期	<p>単元名「展開授業③」</p> <p>【知識及び技能】 鉄筋コンクリート工事、光環境、先端技術について理解させ、関連する技術を身に付けさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 鉄筋コンクリート工事、光環境、先端技術について課題を発見し、解決する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 鉄筋コンクリート工事、光環境、先端技術について自ら学び、取り組む態度を養う。</p>	<p>指導項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施工Ⅲ（鉄筋コンクリート工事Ⅰ） （建築実習2 pp.69-76） 単管足場の組立・解体 ・環境計画Ⅲ（光環境Ⅱ） （建築実習1 pp.173-176） （建築計画 pp.46-54） 昼光率の測定 ・先端技術Ⅲ 3次元データを活用した作図 	<p>【知識・技能】 報告書などの成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p> <p>【思考・判断・表現】 報告書などの提出物の成果や思考・判断など指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや報告書などの提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p>	○	○	○	15
合計							105

高等学校 令和6年度

教科 工業

科目 建築製図

教科：工業

科目：建築製図

単位数：3 単位

対象学年組：第3学年 A組

教科担当者：首代昌紀 金子淳一

使用教科書：（実教出版「建築設計製図」）

教科 工業 の目標：

【知識及び技能】工業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連している技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】工業に対する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 建築製図 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
建築設計製図に関する学習や作図・課題演習を通して、基本的な概念や総合的な把握の仕方を理解し、設計図書の意義や役割、作図手順などの知識を習得するとともに、創意工夫して表現する設計製図の技能を身につける。	各種建築工事に使用される設計図書作成に関する諸問題を、総合的な見地からの確に把握し考察を深め、建築設計製図における基礎的・基本的な知識を活用して適切に思考・判断し、創意工夫した製図法で的確に表現する力を身につける。	各種建築工事に使用される設計図書を作成することに興味・関心をもち、建築設計図書の意義や役割および諸問題の解決を目指して、主体的に学習に取り組むとともに、建築技術者として望ましい心構えや態度を身につける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	<p>単元名 「商店設計」</p> <p>【知識及び技能】 商店設計における計画や考え方について理解させ、関連する作図技術を身に付けさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 商店設計における計画や考え方について課題を発見し、解決する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 商店設計における計画や考え方について自ら学び、取り組む態度を養う。</p>	<p>指導項目 商店設計 ・配置図兼平面図 ・各階平面図 ・西立面図 ・断面図 ・外観パース ・コンセプト ・面積表 他</p> <p>教材 ・教科書、図説建築資料集、参考作成プリント、見本製図</p>	<p>【知識・技能】 図面の成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p> <p>【思考・判断・表現】 図面などの提出物の成果や表現など指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや図面などの提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p>	○	○	○	45
2 学期	<p>単元名 「卒業設計」</p> <p>【知識及び技能】 集合住宅又は別荘の設計における計画や考え方について理解させ、関連する作図技術を身に付けさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 集合住宅又は別荘の設計における計画や考え方について課題を発見し、解決する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 集合住宅又は別荘の設計における計画や考え方について自ら学び、積極的に発表しようと取り組む態度を養う。</p>	<p>指導項目 卒業設計（集合住宅又は別荘） ・配置図兼平面図 ・各階平面図 ・立面図 ・断面図 ・外観パース ・内観パース ・コンセプト ・面積表 ・プレゼン 他</p> <p>教材 ・教科書、図説建築資料集、参考作成プリント、見本製図</p>	<p>【知識・技能】 図面の成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p> <p>【思考・判断・表現】 図面などの提出物の成果や表現など指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや図面などの提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p>	○	○	○	60
3 学期							

合計

105

教科：工業

科目：建築法規

単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組

教科担当者：金子 淳一

使用教科書：（実教出版「建築法規」、建築資料研究社「建築基準法関係法令集」）

教科 工業 の目標：

【知識及び技能】工業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連している技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】工業に対する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 建築法規 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
建築の各分野の基礎的・基本的な知識・技術を活用して立案した建築計画を建築基準法に適合させるため、根拠となる法令を建築基準法関係集から確認できる知識と能力を習得し建築法規の意義や役割を理解する。	建築物を設計するにあたり建築法規にかかわる問題点や課題を建築の各分野の基礎的・基本的な知識・技術を活用して思考・判断し、的確にその解決策を見いだせる能力を身につける。	建築法規に興味・関心をもち、その目的や意義をはじめ、建築物のつくり出される過程との関わりなどを理解するため、真摯な態度で意欲的に取り組む。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	単元名「建築基準法の用語の定義」 【知識及び技能】 建築基準法の成り立ちを理解させ、建築基準法関係法令集を適切に引けるようにする能力を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 建築基準法関係法令集の構成を理解し使いやすくインデックス等を取り付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 建築基準法における用語の定義について自ら学び、取り組む態度を養う。	指導項目 ・建築基準法の成り立ち ・用語の定義 教材 ・建築基準法関係法令集 ・教科書 ・作成プリント	【知識・技能】 定期考査の成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【思考・判断・表現】 ノートなどの提出物や定期考査の成果を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。	○	○	○	18	
	中間考査			○	○		1	
	単元名「建築基準法の基本用語」 【知識及び技能】 建築基準法における面積、高さ、階数の算定方法を理解させる。また建築物の確認申請の要不要を判断する知識を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 法令の様々な文言表現を正しく読みこなし正確に解釈できる力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 建築物を制限する法令の各要素について自ら学び、取り組む態度を養う。	指導項目 ・面積、高さ、階数の算定 ・確認申請 教材 ・建築基準法関係法令集 ・教科書 ・作成プリント	【知識・技能】 定期考査の成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【思考・判断・表現】 ノートなどの提出物や定期考査の成果を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。	○	○	○	18	
期末考査			○	○		1		
2 学期	単元名「一般構造・建築設備についての規定」 【知識及び技能】 採光、換気、階段等、各建築物ごとに受ける制限 【思考力、判断力、表現力等】 単体規定について法令集より関係法令を的確に引いて対応できる能力を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 建築物を制限する法令の各要素について自ら学び、取り組む態度を養う。	指導項目 ・換気と採光 ・有効採光面積の求め方 ・階段の幅、けあげ、踏面 ・木造建築物の軸組量の算定 教材 ・建築基準法関係法令集 ・教科書 ・作成プリント教材	【知識・技能】 定期考査の成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【思考・判断・表現】 ノートなどの提出物や定期考査の成果を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。	○	○	○	24	
	中間考査			○	○		1	
	単元名「防火と避難についての規定」 「道路と敷地」 「密度に関する規定」 「形態に関する規定」 【知識及び技能】 各種建築物の防火に関する規定と都市計画区域内の建築制限について建築基準法および施行令に基づいた内容を理解させ、関連する技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 各種法令の適用対象となる地域、建築物について学び、関係法令を法令集より引き対応できる力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 各種建築物に適用される法令について自ら学び、取り組む態度を養う。	指導項目 ・防火地域、準防火地域 ・法別表 1 ・建坪率 ・容積率 ・斜線制限 教材 ・建築基準法関係法令集 ・教科書 ・作成プリント教材	【知識・技能】 定期考査の成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【思考・判断・表現】 ノートなどの提出物や定期考査の成果を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。	○	○	○	21	
期末考査			○	○		1		
3 学期	単元名「都市計画法」 「土地利用」 【知識及び技能】 都市計画区域内の建築制限について建築基準法および施行令に基づいた内容を理解させ、関連する技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 各種法令の適用対象となる地域、建築物について学び、関係法令を法令集より引き対応できる力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 各種建築物に適用される法令について自ら学び、取り組む態度を養う。	指導項目 ・法別表 3 ・都市計画法 ・建設業法 教材 ・建築基準法関係法令集 ・教科書 ・作成プリント教材	【知識・技能】 定期考査の成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【思考・判断・表現】 ノートなどの提出物や定期考査の成果を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。	○	○	○	19	
	学年末考査			○	○		1	
							合計	105

教科: 工業

科目: 建築構造設計(応用)

単位数: 2 単位

対象学年組: 第 3 学年 A 組

教科担当者: 金子 淳一 矢澤 正己

使用教科書: (実教出版「建築構造設計」)

教科 工業 の目標:

【知識及び技能】工業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連している技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】工業に対する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 建築構造設計(応用) の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
建築構造設計に関する基礎的・基本的な知識と技術を身に付け、建築物の安全性について現代社会におけるその意義や役割を理解するとともに合理的に考えることができる。	建築物全体の安全性に関して思考を深め、建築構造設計に関する基礎的・基本的な知識と技術を基に、技術者として適切に判断、表現する創造的な能力を身につける。	建築物の安全性に関して関心をもち、その基礎的・基本的な知識と技術の習得に対して主体的に取り組むとともに、技術者として多様な構造設計に挑む実践的な態度を身につける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	単元名「断面の性質」 【知識及び技能】 構造物の部材の断面の性質を理解させ、関連する技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 柱と梁について断面の性質を理解し卒業設計に応用できる力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 構造物の断面の性質について自ら学び、取り組む態度を養う。	指導項目 ・断面1次モーメント ・部材断面の重心の求め方 教材 ・教科書、作成プリント	【知識・技能】 定期考査の成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【思考・判断・表現】 ノートなどの提出物や定期考査の成果を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。	○	○	○	10
	中間考査			○	○		1
	単元名「断面の性質」 【知識及び技能】 ・断面1次モーメントを用いて部材断面の重心の位置を求める能力を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 不定形部材の断面について・断面1次モーメントを応用して部材断面の重心の位置を求める。課題を発見し、解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 不定形部材断面の重心の求め方と表し方について自ら学び、取り組む態度を養う。	指導項目 ・柱や梁の断面の重心を断面1次モーメントを用いての求め方を理解させる。 ・断面2次モーメント力学的意味と求め方を理解させる。 ・断面係数の力学的意味と求め方を理解させる。 教材 ・教科書、作成プリント	【知識・技能】 定期考査の成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【思考・判断・表現】 ノートなどの提出物や定期考査の成果を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。	○	○	○	10
	期末考査			○	○		1
2 学期	単元名「部材に生じる応力度」 【知識及び技能】 柱と梁についての応力度を理解させ、関連する技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 各種応力度を算定できるようにし課題を発見し、解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 各種応力度について自ら学び、取り組む態度を養う。	指導項目 ・垂直応力度 ・せん断応力度 ・曲げ応力度 教材 ・教科書、作成プリント	【知識・技能】 定期考査の成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【思考・判断・表現】 ノートなどの提出物や定期考査の成果を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。	○	○	○	17
	中間考査			○	○		1
	単元名「部材に生じる応力度」 【知識及び技能】 柱と梁についての応力度を理解させ、部材断面の算定に関連する技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 各種応力度を算定できるようにし部材断面を選定できるようにし卒業設計等に活用できる力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 各種応力度について自ら学び、取り組む態度を養う。	指導項目 ・垂直応力度 ・せん断応力度 ・曲げ応力度 ・片持ち梁の断面算定 ・単純梁の断面算定 ・柱の断面算定 教材 ・教科書、作成プリント	【知識・技能】 定期考査の成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【思考・判断・表現】 ノートなどの提出物や定期考査の成果を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。	○	○	○	16
	期末考査			○	○		1
3 学期	単元名「部材に生じる応力度」 「梁の変形」 【知識及び技能】 たわみと座屈の解法、ついて理解させ、関連する技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 たわみと座屈の解法について課題を発見し、解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 たわみと座屈の解法について自ら学び、取り組む態度を養う。	指導項目 ・オイラーの男性座屈荷重 ・座屈長さについて ・モールの定理 ・たわみとたわみ角の算定 教材 ・教科書、作成プリント	【知識・技能】 定期考査の成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【思考・判断・表現】 ノートなどの提出物や定期考査の成果を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。	○	○	○	12
	学年末考査			○	○		1
							合計
							70